

科目名	リーディング・スキルズ		
担当教員名	宮本 正治		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

英語が国際語になっている現在、英文をすばやく読む能力は欠かせないものになっています。一文一文ゆっくり正確に読むことも大切ですが、時には内容をすべて理解するよりもおおまかな情報を効率的に把握することのほうが大切になります。そこでこの授業では、スキミングやスキニングなど、英文を読む目的に応じた速読のスキル=技術を学びます。もちろん、基礎英語で学んだ文法事項をふまえて英文を精読し、読み方の確認も行っていきます。

内容

英文では論理的な思考が重視されます。そのため、英語で書かれる文章のパターンは論理の流れにしたがうことが多くなります。逆に言うと、英文エッセイのパターンに習熟していれば、論理展開を予測しながら効率よく読み進めることができるわけです。授業では、「意見と理由」「観察と分析」「実験と結果」「賛成と反対」「比較と対比」「分類」「指示」「歴史」「原因と結果」などのパターンを取り上げ、それぞれの文章に応じた読み方を練習していきます。また、教室での演習に加えて、毎週の課題を行うことによって、実践的な英文読解のスキルを身につけていきます。

評価

出席45%、期末テスト30%、平常点(課題、参加態度)25%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

『Skills for Better Reading 構造で読む英文エッセイ(改訂版)』(石谷由美子他、南雲堂、1700円+税)

科目名	エッセイ・ライティング		
担当教員名	宮本 正治		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

英語が国際語となっている現在、社会で活躍するためには英語で自分の意見を表現する力が求められます。そこでこの授業では、ひとつのまとまった内容を英語で書く訓練をすることを目的とします。もちろん、まとまった内容を表現するためには、ある程度の長さのパラグラフを書く必要がでてきます。一文一文を文法的に書くことに加えて、英文エッセイにおけるパラグラフの概念を学び、論理的な文章を書くことをめざします。

内容

英文では論理的な思考が重視されます。そのため、英語で書かれる文章のパターンは論理の流れにしたがうことが多くなります。逆に言うと、英文エッセイのパターンに習熟していれば、論理展開のしっかりした文章を書くことができるわけです。授業では、「意見と理由」「観察と分析」「実験と結果」「賛成と反対」「比較と対比」「分類」「指示」「歴史」「原因と結果」などのパターンを取り上げ、それぞれの文章に応じた書き方を練習していきます。また、教室での演習に加えて、課題を行うことによって、実践的な英文読解のスキルを身につけていきます。

評価

出席 45%、期末テスト 30%、平常点(課題、参加態度) 25%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

『Skills for Better Writing 構造で書く英文エッセイ(改訂版)』(石谷由美子他、南雲堂、1900円+税)

科目名	ニュース・リスニング		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現在英語を媒体としたニュースが容易に手に入る時代である。さらに、グローバル化に伴い、一国内ニュースが国際ニュースとなる場合もある。

たとえば、ハワイ沖での日本の高校練習船にアメリカの潜水艦が衝突した事件は記憶に新しいだろう。このニュースは、アメリカでは「ハワイ沖でアメリカの潜水艦が日本漁船に衝突」とだけ報道された。これだけだと、商業目的の日本の漁船がアメリカの海域に入り込んだ印象を与える可能性もある。

このように、ひとつの事件を日本側とアメリカ側から見るのとは大変な違いがある。

本演習では、英語ニュースの聴き方を基本から応用までじっくりと力をつけることを目指している。

内容

1. 導入
2. 災害ニュース
3. 事故関連ニュース
4. 犯罪関連ニュース
5. 社会生活関連ニュース
5. 健康関連ニュース
7. スポーツ関連ニュース
8. 国際関係関連ニュース
9. 政治関連ニュース
10. 経済関連ニュース
11. 環境関連ニュース
12. 科学関連ニュース
13. 天気関連ニュース
14. ニュースのまとめ(1)
15. ニュースのまとめ(2)

評価

平常点 35% 試験 65%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書: 森田勝之著 『ニュース英語のリスニング 基礎編 改訂新版』 DHC

科目名	ニュース・リスニング		
担当教員名	榊原 理枝子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

英語のニュースを聴いて理解できるようなリスニング力を養成します。それには、基本となる語彙力や文法の力が不可欠ですから、まずは基礎を固めるところから入ります。ですから、あまりリスニングが得意ではない人、英語の基礎力に自信がない人も、できるようになりたいという気持ちさえあれば、大丈夫です。分からないことや要望があればどんなことでも言って下さい。

内容

2008年1月から6月までの国内外の出来事をグローバルな視点で英語のニュースにしているNHKのラジオ放送と、そのWebsiteの記事を基にした教科書を使います。扱っているのは、食の安全性のような身近な問題から、国内政治、それから日本の捕鯨船への襲撃といった日本と世界の問題、またアメリカ大統領選などの国際ニュースなど、多岐に渡ります。読んで分からないものは聴いても分かりませんから、時事的英文の読解もやって、語彙などを身に付けてもらいます。時には教科書以外のリスニングにも挑戦してもらいます。

評価

下記の割合で点数化し、60点以上を合格とします。

1. 平常点(1) 授業への出席・参加度 10点 (2) 小テスト、課題提出等 30点 (毎回、授業にきちんと取り組み、復習をしていればできるような小テストを行います。小テストにかかる時間は大体10分から15分です。これは学習の習慣を付けることを目的としています。また自分で理解度を確認し、学習の指針を立てるためのものでもあります。) 2. 期末試験 60点

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】木村友保、NHK国際放送局監修『NHK World News: Global Perspectives』NHKワールド・ニュースで学ぶ「聴く英語、読む英語」(南雲堂、2100円)(自宅学習用CD付。フジシュッ
プ扱い)その他、プリント。

科目名	インターネット英語		
担当教員名	藤野 紀男		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

われわれはインターネット社会に身を置いており、インターネットの世界では英語が約80%を占めていると言われている。これまでになく英語コミュニケーション能力が必要とされているわけである。この授業ではEメールとインターネットに関するいくつかの話題を英語で紹介しているテキストを使い、インターネット世界を覗きながら英語力を増強することに目標をおく。他の資料なども適宜補ってゆきたい。

内容

取り上げられる話題はすでに知っているものばかりであるが、英語で説明されているのでけっこう難しく感じられるであろう。話題としては以下のものが扱われる。

- 1 回目 Email Mania
- 2 回目 Email Spam
- 3 回目 Email Fraud
- 4 回目 Email Lingo
- 5 回目 Email Breakups
- 6 回目 Mobile Email
- 7 回目 Email Efficiencies
- 8 回目 Social Networking Sites
- 9 回目 Blogging
- 1 0 回目 Information Superhighway
- 1 1 回目 Online Journalism
- 1 2 回目 Citizen Journalism
- 1 3 回目 Online Shopping
- 1 4 回目 Internet Advertising
- 1 5 回目 まとめ

評価

小テスト・課題等の結果に70%、出席を主とする平常点に30%の割合で総合評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

N. Reveler他、"English for the Digital World"、三修社、1,800円+税

科目名	オフィス英語		
担当教員名	榊原 理枝子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,選必,必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

ビジネスに必要な英語を駆使できるようになってもらうことを目標とします。卒業後の進路には関係なく、実用英語の訓練という意味で役に立ちますから、将来の希望に関係なく履修して大丈夫です。

内容

ビジネスシーンでの会話や、電話の応対などに必要なリスニング・スピーキングの練習をしたり、ビジネス関連の英文の読解力を強化の強化を目指します。つまり、ビジネス上の実践を意識した英語力の要請ということです。教科書は一見難しそうですが、語彙、文法などの基本的英語力を増強しながら勉強を進めていきますので、できるようになりたいという気持ちさえあれば大丈夫ですから、安心してください。分からないことや要望があればどんなことでも言って下さい。

評価

下記の割合で点数化し、60点以上を合格とします。

1. 平常点 (1) 授業への出席・参加度 10点 (2) 小テスト、課題提出等 30点 (毎回、授業にきちんと取り組み、復習をしていればできる小テストを、所要時間10分から15分で行います。これは学習の習慣を付けることを目的としています。また自分で理解度を確認し、学習の指針を立てるためのものでもあります。) 2. 期末試験 60点

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Roger Barnard and Jeff Cady. Business Venture 1(Oxford、2560円)(フジショップ扱い)、その他プリント。

科目名	オフィス英語		
担当教員名	宮崎 順子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選必,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では、リスニングとライティングに重点を置いて、ビジネスの世界で必要とされる英語の基礎力を養うことを目標とします。リスニングでは、比較的平易なオフィス英語を聞き取る力を養います。ライティングでは、英文ビジネス文書に関する基礎知識を習得し、実際に活用できるようになることを目指します。

内容

リスニングは、さまざまなビジネスシーンや話題を取り扱った実用的な会話を聞いて、英語の聴解に慣れるとともに、ビジネス英語特有の表現や語彙を学習していきます。ライティングは、ビジネスレター・電子メール・ファックス等で用いられる文体や形式を学習した上で、問題演習に取り組みます。必要に応じて、基本的な文法事項等について解説を加えていきます。また、学習したことをもとに、簡単な会話の練習も行う予定です。

3～4週ごとに単語や表現等の小テストを実施します。

各自予習・復習をして、積極的に授業に参加してください。

評価

平常点(1) 授業への出席・参加度 20%

(2) 小テスト、課題提出等 20%

期末試験 60%

上記の割合で評価を行い、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】城由紀子・島田拓司・Edward J. Schaefer 『Business Talk やさしいオフィス英語』成美堂

科目名	オフィス英語		
担当教員名	福田 弘		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

グローバル化時代を迎え、多くの日本企業の国際化が進展すると同時に、多くの外国企業が日本に進出している。それに伴い企業における英語によるコミュニケーションがますます必要とされてきている。

本科目では実際に仕事で使われている表現のなかで、易しく且つ応用力の大きなものを選び繰り返し練習することにより、数少ない表現を活用し仕事を進めることができるようにすることを目的とする。

内容

企業に勤務し米国駐在を命じられ赴任する人をストーリーの中心に据え、赴任時から遭遇する様々なシチュエーションでの必要な英語表現を選びそれを反復応用し使えるようにする。シチュエーションは実際に直面するものを想定しているが英語表現自体は極力易しいものを選んでいく。夫々にシチュエーションに必要なeメール文を作成や関連するビジネス英文の和訳等も宿題としてやってもらう。

さらにそれらのシチュエーションに関連づけ、インターネット検索をおこない、必要な語彙の習得また米国での生活の実際なども理解して貰う。

楽しく英語を学べるように努めるつもりであるので、学生諸氏の要望等も極力取り入れていきたい。

評価

出席、復習Q U I Z (前週の復習)、宿題、期末試験を総合して評価する。

本科目は必修科目であるので、一定の出席率は単位取得の絶対条件。

出席点に40%、それ以外のQ U I Z、宿題、試験に60%を配分する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	オーラル・コミュニケーション		
担当教員名	ニコラス ルーツ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必,必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

To develop speaking skills, students need to be exposed to English and use English as much as possible. The overall objective of this course is to provide students with plenty of opportunities to listen to English and to speak in English. Students' development of listening and speaking skills will be guided and lead by interesting and relevant topics.

内容

In order to maximize their learning opportunities, active participation is essential. Students will participate in pair work and group work discussion, roleplays, and whole class activities. Students will be introduced to key language through enjoyable cartoons and will be guided through pronunciation, speaking, listening, reading, and writing exercises.

1	Favourite Names: Names and greetings
2	A Barbecue with Friends: Food and Occupations
3	Family Photos: Family and interests
4	That's My Lucky Number: Phone numbers, addresses, and numbers
5	It's a Small World: Countries and Colors
6	Do You Like This Shirt: Clothing and prices
7	Review
8	We're Late: Time and days of the week
9	Happy Birthday: Age and birthday parties
10	Let's Do Something This Weekend: Weekend activities, seasons, and weather
11	Come on! Hurry Up: Basic commands and locations in a city
12	Let's Order a Pizza: Food, drinks, and menus
13	Welcome to San Francisco: Cities around the world, points of interest, and invitations
14	Review
15	Final Exam

評価

Attendance (15%): Anyone missing more than 4 classes will be given an F grade.

Effort and Participation (25%):

Skits and roleplays (30%):

Homework (15%):

Quizzes and Final Test(15%):

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

Fuller and Kiggell, Advantage Get Ready, Macmillan Languagehouse 2004, ISBN: 4-89585-521-X

科目名	オーラル・コミュニケーション		
担当教員名	ニコラス ルーツ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必,必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

To develop speaking skills, students need to be exposed to English and use English as much as possible. The overall objective of this course is to provide students with plenty of opportunities to listen to English and to speak in English. Students' development of listening and speaking skills will be guided and lead by interesting and relevant topics.

内容

In order to maximize their learning opportunities, active participation is essential. Students will participate in pair work and group work discussion, roleplays, and whole class activities. Students will be introduced to key language through enjoyable cartoons and will be guided through pronunciation, speaking, listening, reading, and writing exercises.

1	Favourite Names: Names and greetings
2	A Barbecue with Friends: Food and Occupations
3	Family Photos: Family and interests
4	That's My Lucky Number: Phone numbers, addresses, and numbers
5	It's a Small World: Countries and Colors
6	Do You Like This Shirt: Clothing and prices
7	Review
8	We're Late: Time and days of the week
9	Happy Birthday: Age and birthday parties
10	Let's Do Something This Weekend: Weekend activities, seasons, and weather
11	Come on! Hurry Up: Basic commands and locations in a city
12	Let's Order a Pizza: Food, drinks, and menus
13	Welcome to San Francisco: Cities around the world, points of interest, and invitations
14	Review
15	Final Exam

評価

Attendance (15%): Anyone missing more than 4 classes will be given an F grade.

Effort and Participation (25%):

Skits and roleplays (30%):

Homework (15%):

Quizzes and Final Test (15%):

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

Fuller and Kiggell, Advantage Get Ready, Macmillan Languagehouse 2004, ISBN: 4-89585-521-X

科目名	オーラル・コミュニケーション		
担当教員名	ニコラス ルーツ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

To develop speaking skills, students need to be exposed to English and use English as much as possible. The overall objective of this course is to provide students with plenty of opportunities to listen to English and to speak in English. Students' development of listening and speaking skills will be guided and lead by interesting and relevant topics.

内容

In order to maximize their learning opportunities, active participation is essential. Students will participate in pair work and group work discussion, roleplays, and whole class activities. Students will be introduced to key language through enjoyable cartoons and will be guided through pronunciation, speaking, listening, reading, and writing exercises.

1	Favourite Names: Names and greetings
2	A Barbecue with Friends: Food and Occupations
3	Family Photos: Family and interests
4	That's My Lucky Number: Phone numbers, addresses, and numbers
5	It's a Small World: Countries and Colors
6	Do You Like This Shirt: Clothing and prices
7	Review
8	We're Late: Time and days of the week
9	Happy Birthday: Age and birthday parties
10	Let's Do Something This Weekend: Weekend activities, seasons, and weather
11	Come on! Hurry Up: Basic commands and locations in a city
12	Let's Order a Pizza: Food, drinks, and menus
13	Welcome to San Francisco: Cities around the world, points of interest, and invitations
14	Review
15	Final Exam

評価

Attendance (15%): Anyone missing more than 4 classes will be given an F grade.

Effort and Participation (25%):

Skits and roleplays (30%):

Homework (15%):

Quizzes and Final Test (15%):

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

Fuller and Kiggell, Advantage Get Ready, Macmillan Languagehouse 2004, ISBN: 4-89585-521-X

科目名	時事英語		
担当教員名	湊 和夫		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. こんにち、新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなどから得られる英語の情報は、ますます多くなっている。これからの社会では、英語による情報を賢明に処理し、これを利用する能力が、極めて重要である。この授業では、マスメディア英語の読解力と情報収集能力の体得を目指す。
2. 市販の時事英語のテキストでは、内容が一年以上前の事象になってしまう(オバマ氏の米大統領就任も入っていない!)ので、市販のテキストは使わず、英字新聞を使う。かといって、通常の英字新聞は、まだ学生には難解すぎる。そこで、初中級の英語学習者用に、毎週金曜日、発行されているAsahi Weekly をテキストとして使用する。

内容

第1回目の授業では、まだAsahi Weekly は使用しない。ここでは、「英字新聞に特有な語法や表現方法」について授業する。この授業は、毎週火曜日1限だが、第1回授業では、前週金曜日に発行されたAsahi Weekly の記事の中から、翌週火曜日の授業では、どれを勉強するかを、受講者に通知し、予習を求める。

第2回以降の授業では、前週予告されていたAsahi Weekly の記事について、勉強する。記事は、毎回、なるべく平易なもの2本程度を選ぶ。どんな内容の記事であるか、なにしろ相手が生ニュースなので、わからない。オバマ政権、アフガニスタン、金融危機、地球温暖化といった国際ニュースから、日本の総選挙、経済、社会、犯罪、地震・津波、流行、ファッション、音楽、スポーツなど、担当教員としては、なるべく多種多彩でエキサイティングな材料を選びたい。

受講者に予習を促すため、毎回の授業の冒頭で、その日勉強すると予告してあった記事について、「単語テスト」を行う。単語は、Aレベル、Bレベル、Cレベル、各5つ程度。毎回、どのレベルでも好きなレベル1つを選んで回答して頂く。

授業は、高校1年修了程度の英語力があれば理解できるように、わかりやすく進める。ただ、欠席が多い受講者に対しては、施す術(すべ)がない。極力、出席してほしい。「予習したけれど、ついてゆけない」という受講者に対しては、教員の毎週の授業用ノートをコピーし、配布する。

評価

定期試験60%、平常点(毎回の単語テストなど)20%、出席点20%、計100%。
60%以上の得点を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

毎週の Asahi Weekly (朝日新聞社刊。毎週金曜日配達。1部250円。月極め購読は1月970円)

科目名	時事英語		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では、英語ニュースを通して英語力を高めるとともに、そのニュースの背景知識を身に付けることをねらいとします。英語ニュースは新聞、雑誌、ウェブサイトなどから、新鮮で話題性のある事柄を取り上げます。リスニングや声を出してのリーディングなど、英語の運用能力を高めることも目指します。

内容

授業では、以下に挙げる分野から新鮮で話題性のあるニュースを取り扱います。

1. 国内政治
2. 経済
3. 外交・国際機関
4. 海外情勢
5. 軍事
6. 事故・災害
7. 犯罪・司法
8. 環境・科学
9. スポーツ
10. カレント・トピック

評価

出席・課題など50点、期末テスト50点により評価します。60点以上が合格です。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教材はプリントを用意します。

科目名	シネマ英語		
担当教員名	藤野 紀男		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

英語学習の目標は英語コミュニケーション能力の養成にある。この観点からシネマ英語を考えると、実際の場面を通して生きた英語を見聞きできることと、背景にある文化的な側面を視覚で把握できると言う利点があることが分かる。今年さまざまな映画を通して出来る限り文化的な側面を理解して貰うことに中心を置くことにする。テキストにはビデオが付いていないので、途中でサンプル映画の鑑賞も考えたい。

内容

イギリス映画を通じてイギリス文化のさまざまな面を取り上げるが、必要に応じてアメリカ、さらには当然日本との比較についても触れるので、比較文化的な視野も広がるであろう。取り上げられる点は以下の通りである。

- 1 回目 オリエンテーション
- 2 回目 イギリスー 歴史と問題点
- 3 回目 Taradition
- 4 回目 The English Gentleman
- 5 回目 Changes
- 6 回目 Malticulturalism
- 7 回目 Scotland
- 8 回目 The North of England
- 9 回目 UK-US Connections
- 1 0 回目 Heritage (1)
- 1 1 回目 Heritage (2)
- 1 2 回目 Relationships
- 1 3 回目 Women
- 1 4 回目 Contrasts
- 1 5 回目 イギリスーまとめ

評価

小テスト・宿題の結果を70%、平常点(主として出席)を30%として総合評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】J. E. Dougill他、"British Culture in Popular Movies"、英潮社フェニックス、1,500円+税

科目名	シネマ英語		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

私たちが日常観る映画、特に英語の映画には幾つの特徴があります。まず、スピード。日常の英語発話から1分間20語以上の速さまでです。また、英語独特の音の変化です。英語の単語が一塊となって聞こえてしまう状態です。こうした幾つの特徴を克服して、英語を字幕なしで観るようになるというのが本授業の目的のひとつです。

内容

1. 英語のリズム
2. 弱く聴こえる音
3. 消失する音
4. tの音変化(1) 消失
5. tの音変化(2) 弾音化
6. tnと閉鎖音、割り込み現象
7. 破裂音の抑制
8. 連音(1) 子音+母音結合
9. 連音(2) 弾音と連結
10. 短縮音(1) アポストロフィーを使った短縮形
11. 短縮音(2) gonna, wanna等
12. 同化(1)
13. 同化(2)
14. 強弱のリズム
15. まとめ

評価

出席・平常点 30%、 試験65%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書: 森田勝之著『映画英語のリスニング』DHC

科目名	観光英語		
担当教員名	ニコラス ルーツ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

To develop speaking skills, students need to be exposed to English and use English as, much as possible. The overall aim of this course is to provide students with plenty of opportunities to listen to and to speak in English. At this level, students' development of listening skills and conversational language will be guided and lead by interesting and relevant topics - related to travel situations abroad.

内容

In order to maximize the development of listening and speaking skills, students are encouraged to actively participate in the wide variety of listening tasks, speaking activities, and the development of key language needed to enjoy a variety of travel situations abroad. Students are required to use English throughout the course and it is a strong factor in determining one's grades.

1	Introduction and Do you have a room for tonight?
2	Can I use my card at this ATM?
3	I have a sunburn.
4	Do you have anything cheaper?
5	Where are you from?
6	Where should we meet?
7	Review
8	I want to write an email in Japanese.
9	What's an egg sunny-side up?
10	I want to bungee jump.
11	I've lost my bag!
12	I think we're lost.
13	What time is your flight?
14	Review
15	Final Exam

評価

Attendance (15%): Anyone missing more than 4 classes will be given an F grade.

Effort and Participation (25%): Active participation in class is important.

Skits and roleplays (30%): Students express their creativity and practice what they have learned.

Homework (15%): Minor homework assignments will be given through the course.

Quizzes and Final Test(15%): Quizzes and a final test will be given.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

Buckingham and Whitney, Passport to New Places, Oxford University Press, 2004, ISBN: 978-0-19-457512-6

科目名	ビジネス・ライティング		
担当教員名	宮崎 順子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では、ビジネスの世界で必要とされる英語のライティング能力を養成することを目標とします。ビジネスシーンで使われる英語表現を習得し、さまざまな目的や状況に応じた英文が書けるようになることを目指します。

内容

まず、ビジネスレター・電子メール・ファックス等で用いられる文体や形式などの基礎知識を学んでいきます。次に、ペアワークやグループディスカッションを交えながら、各トピックごとの課題に取り組みます。必要に応じて、基本的な文法事項等について解説を加えていきます。

授業で学習した内容に合わせて、定期的にライティングの宿題を出します。

各自予習をして、積極的に授業に参加してください。

評価

平常点(1)授業への出席・参加度 20%

(2)小テスト、課題提出等 20%

期末テスト 60%

上記の割合で評価を行い、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 Roger Barnard, Antoinette Meehan 『Writing for the Real World 2』 Oxford University Press

科目名	パブリック・スピーキング		
担当教員名	ニコラス ルーツ		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-実践英語科目群		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 英語		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

This is an introductory class on public speaking and giving speeches. The purpose of this class is to gain confidence in speaking in front of an audience and to develop basic presentation and public speaking skills.

内容

Students will participate in pair work, group work discussion exercises and plenty of mini-presentations. Mini-presentations are important in developing students' confidence in speaking in front of an audience. We will develop and expand your public speaking skills by examining the basic parts of successful presentation ? body language, voice inflection, and story telling ability.

Week 1-5: We will focus on posture, eye contact, and gestures through a series of show and tell presentations.

Week 6-10: We will look at voice inflection and how it helps make a speech better and easier to understand through a series of mini-speeches.

Week 11-15: We will combine all that has been learned and prepare for a final presentation.

評価

Attendance (15%): Anyone missing more than 4 classes will be given an F grade.

Effort and Participation (25%): Active participation in class is essential towards meaningful practice and successful learning.

Mini Presentations (30%): Give presentations.

Final Presentation (30%): Give a final presentation showing the progress they have made.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

To be confirmed after the first week of class.